

編集後記

最近になってようやくワクチンの接種が始まり、先の見えない恐慌状態から始まったコロナ禍も、少しずつ終わりの気配が近づいてきました（本稿の校正期間中に第4波が来てしまいました）。この1年間の行動範囲を振り返ると、平日は職場、休日は主に家で子どもの相手と、非常に狭いエリア（直径5kmの円）の中を往復するだけで過ごしていました。もともとアウトドア派でない私は、コロナ禍前には冗談半分で「(出張等の) 水平面上の移動は、多量のエネルギーを消費する割に位置エネルギーが変わるわけでもなく、もったいないので、早くVR(バーチャルリアリティ)技術が進化して全てオンライン化してほしい」といった主張をしていたのですが、否応もなく会議や打ち合わせが全面オンライン化したことで、対面の有用性にも気づかされました。

最近多く開催されているオンラインの研究会などは、移動の必要がないために参加のハードルは対面より低く、情報共有や知識普及の機会として大いに役立っているように見えます。しかし一方で、細やかな配慮や個別の打ち合わせ

が制限されるために、聴講に際し求められる基礎的知識が画一化され、初学者には難しく、逆に習熟者には物足りない、といったことも起きているように思います。また、対面とオンラインでは、研究会や学会における“休憩時間”の在り方に大きな違いがあると考えています。多人数の待機画面が表示されるオンライン上では、対面のように参加者同士が気軽に雑談を交わすことは困難で、特に、新たな人間関係を構築するためのきっかけ作りができません。コロナ禍が収束した後は、オンライン会議ソフトはあくまでツールの一つとして、対面とうまく使い分けて便利に活用していくことが肝要であると感じています。

それはさておき、海外出張の消滅で外国人と触れ合う機会が減ったことで、元々貧弱だった英語力が壊滅的です(対して、ドミノ倒しをはじめとした家遊びの技術は向上を続けています)。嫌いなものから目を背けてばかりでは子どものわがままを注意できないので、2021年度は能動的に英語に触れることを自らに課したいと思います。

(田中宏彦)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：森 雅博
副 会 長：安藤 晃 (推薦委員長：研究助成, 男女共同参画委員長) 竹入康彦 (推薦委員長：学会賞, 研究部会連絡会委員長)
常務理事：下妻 隆 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 大野哲靖
金子俊郎 木戸修一 (財務委員長) 小西哲之 齊藤輝雄
篠原孝司 (広報委員長) 神野雅文 中井光男 (年会運営委員長, 企画委員長)
渡邊隆行 (企業展示検討委員長, 支部・地区研究連絡委員長) 横峯健彦 和田 元
監 事：中村圭二, 前田達志

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 渡邊隆行 核融合プラズマ 大野哲靖 プラズマ炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 城崎知至(広島大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)
編集委員：池添竜也(九大), 今寺賢志(京大), 岩田夏弥(阪大), 上野一磨(中京大), 大谷芳明(量研), 小川大輔(中部大), 呉 準席(大阪市大), 小柳津 誠(量研), 加藤雄人(東北大), 河村学思(核融合研), 小林 真(核融合研), 小林政弘(核融合研), 近藤康太郎(量研), 齋藤誠紀(山形大), 齋藤晴彦(東大), 柴田崇統(高エネ研), 清水鉄司(産総研), 竹田圭吾(名城大), 田中宏彦(名大), 中村浩隆(阪大), 水口直紀(核融合研), 向井啓祐(京大), 本村大成(産総研), 森田太智(九大), 森高外征雄(核融合研), 山田大将(長野高専), 安原 亮(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第97巻第5号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2021年(令和3年)5月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。